

徳川家康の九男、初代尾張藩主・徳川義直の年代記！
尾張徳川家の公式記録、初の全文翻刻！

【史料纂集古記録編 第185回配本】

げんけいさまごだいごきろく

源敬様御代御記録 全4冊

徳川林政史研究所編 / 深井雅海・川島孝一 校訂

2016年7月28日刊行

第2 寛永8年（1631）～寛永16年（1639）

A5判・上製・函入・308頁 定価（本体15,000円＋税）ISBN978-4-8406-5185-1 C3321

既刊：第1 慶長5年（1600）～寛永7年（1630）
282頁 定価（本体15,000円＋税）ISBN978-4-8406-5180-6 C3321

- 本記録は、徳川義直の出生から没後の四十九日法要までの公式記録である。
- 義直一代の事歴を、家康、秀忠、家光との関係を時系列をたどって知ることが出来る。
- 本冊には、義直32歳より40歳までの年代記を取録。
- 原本は36冊あり、公益財団法人徳川黎明会 徳川林政史研究所の所蔵にかかる。
- 他に記録の少ない近世初頭の重要な記事を豊富に含み、尾張藩家臣団の詳細な人事記録、個々の移動、加増、相続の記事からは、家臣団の成立過程を如実に読取れる。
- また、徳川本家、紀伊、水戸の徳川両家や松平一門、他の諸大名との交流の様子が具体的にわかる。
- 名古屋の城下町形成の過程や、町作りの様子を具体的に知ることが出来る。

【徳川義直（1600-50）】

御三家の一つ、尾張徳川家の祖。父は徳川家康、母は志水宗清の女（お亀の方、相応院）。江戸時代初期の甲斐国甲府藩主→尾張国清洲藩主→同国名古屋藩主。慶長12年（1607）、兄松平忠吉の無嗣断絶の後を受け尾張国清洲へ転封。儒学を重んじ、家康より贈られた「駿河御讓本」を中心に多数の典籍を収集し文庫に保存。諡号は、生前林道春と協議の上、自身で定めた「源敬」で、本書の書名はこの名に由来する。